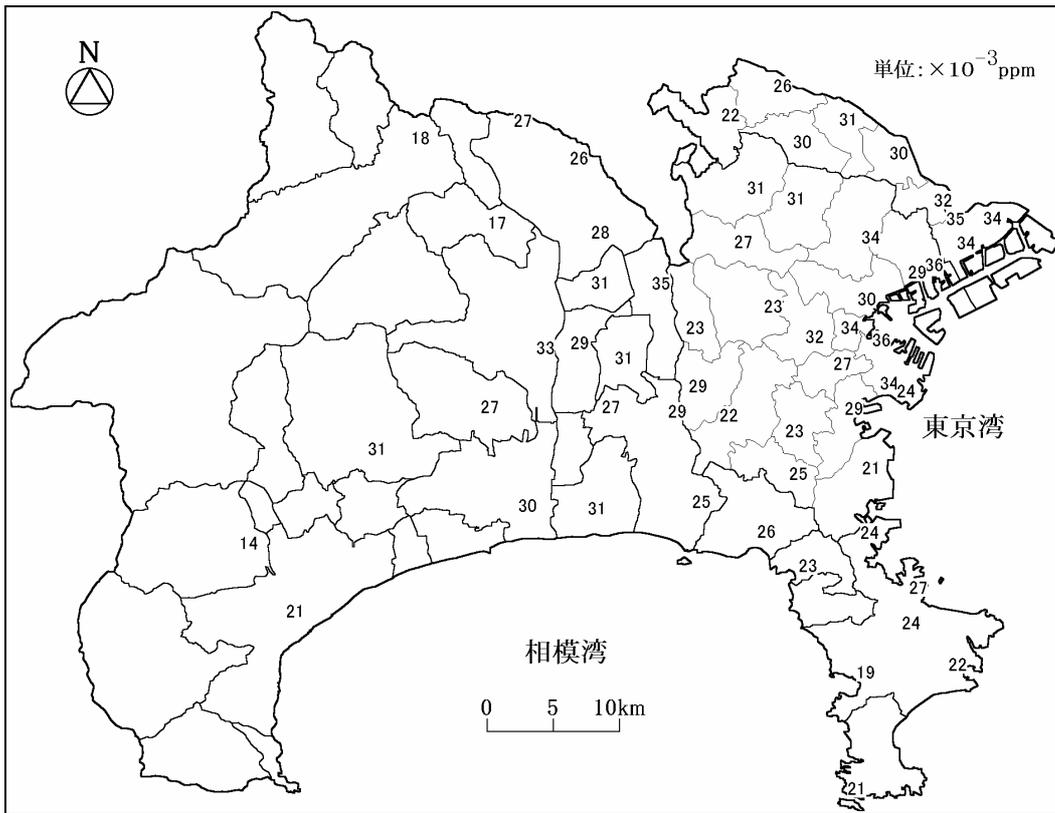


## 第 章 大気汚染物質濃度の状況

## 第 1 節 窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

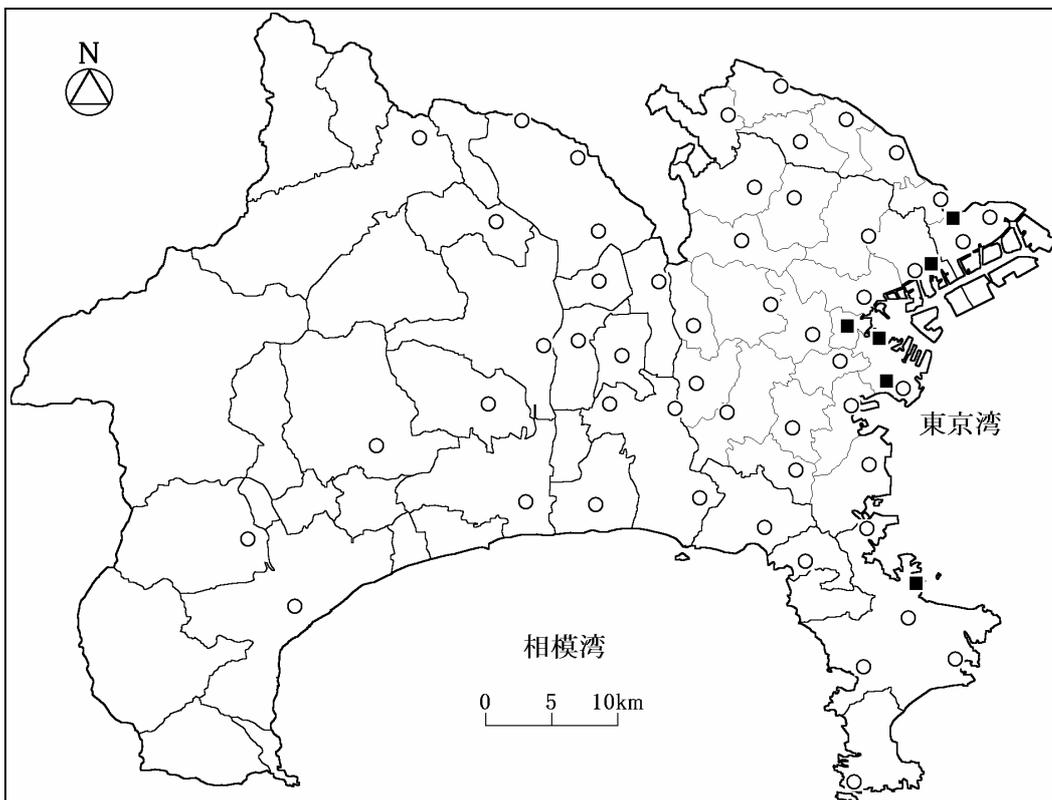
窒素酸化物	<p>大気中の窒素酸化物には、一酸化窒素 (NO)、二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) の他に亜酸化窒素 (N<sub>2</sub>O)、無水亜硝酸 (N<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)、四酸化窒素 (N<sub>2</sub>O<sub>4</sub>)、無水硝酸 (N<sub>2</sub>O<sub>5</sub>) などがある。大気汚染常時監視項目としてNO<sub>2</sub>、NOが測定されている。ここでいうNO<sub>x</sub>とは、NOとNO<sub>2</sub>の合計とする。</p>
発 生 源	<p>都市部におけるNO<sub>x</sub>は、自然の大気中にも0.006ppm程度存在するが、ほとんどが物の燃焼過程から発生している。例えば、ボイラーの排ガスには20~300ppm、自動車排出ガスには10~1,000ppm (NO 90~99%, NO<sub>2</sub> 1~10%) のNO<sub>x</sub>が含まれている。</p> <p>主な発生源としては、工場などのばい煙発生施設や自動車の他に、硝酸製造、肥料製造、金属の酸洗浄施設などがある。</p>
環 境 濃 度	<p>県内のNO<sub>2</sub>濃度は、年平均値の全局平均値で見ると、一般環境測定局、自動車排出ガス測定局ともに、平成13年度では平成11、12年度に比べやや上昇したが、長期的にはやや低下傾向にある。</p> <p>環境基準を達成した測定局は、一般環境測定局57局中51局、自動車排ガス測定局30局中14局である。</p> <p>NO濃度の年平均値は、長期的にみて一般環境測定局、自動車排出ガス測定局ともに僅かに低下傾向にある。</p>
測 定 方 法	<p>吸光光度法または化学発光法</p>
吸光光度法	<p>試料大気をザルツマン試薬吸収液に通じると、ジアゾ化反応が起こり、吸収液がNO<sub>2</sub>の量に比例して橙赤色に発色することを利用して、NO<sub>2</sub>濃度を測定する。NOは、酸化液(硫酸酸性過マンガン酸カリウム溶液)でNO<sub>2</sub>に変化させてからNO<sub>2</sub>と同様の方法で測定する。</p>
化学発光法	<p>試料大気にオゾンを反応させると、NOからNO<sub>2</sub>が生じる。このうちの一部が励起した状態となるが、これが基底状態になるときに伴い光を発する。これを化学発光という。この化学発光の強度を測定することにより、試料大気中のNO濃度を測定する。一方、試料大気のコルバータに通じてNO<sub>2</sub>をNOに変換した上で化学発光の強度を測定し、試料大気中の窒素酸化物(NO<sub>2</sub>+NO)の濃度を求め、これら測定値の差を求めることによってNO<sub>2</sub>濃度を測定する。</p>

1.1 NO<sub>2</sub>濃度の地域分布 (年平均値・環境基準達成状況)



上図の数値は、一般環境大気測定局におけるNO<sub>2</sub>の測定時間が年間6000時間以上ある測定局(有効測定局)の年平均値を示す。

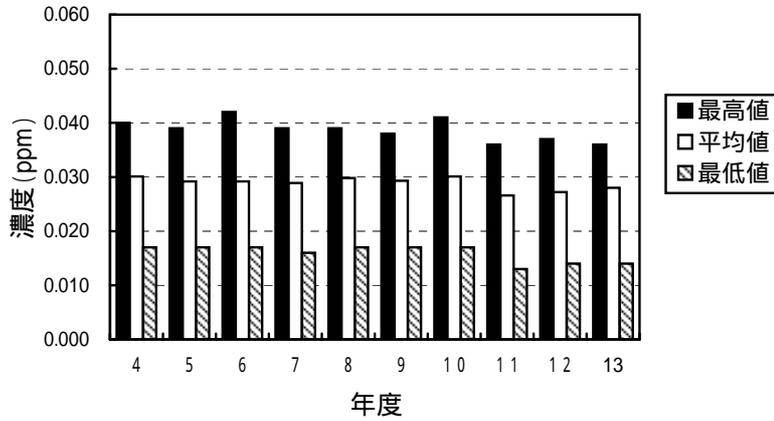
下図の  $\bigcirc$  は環境基準を達成した測定局、 $\blacksquare$  は未達成局を示している。東京湾臨海部で環境基準未達成局がみられる。(環境基準は p.4、p.5 参照)



## 1.2 NO<sub>2</sub>濃度の推移(年平均値)

### (1) 一般環境大気測定局

各一般環境大気測定局におけるNO<sub>2</sub>の年平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

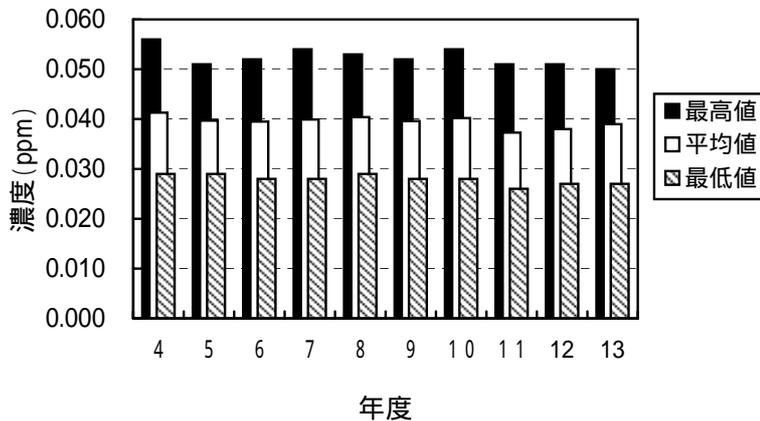


年平均値は、この10年間ではわずかに減少傾向がみられる。

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
最高値(ppm)	0.040	0.039	0.042	0.039	0.039	0.038	0.041	0.036	0.037	0.036
最低値(ppm)	0.017	0.017	0.017	0.016	0.017	0.017	0.017	0.013	0.014	0.014
平均値(ppm)	0.030	0.029	0.029	0.029	0.030	0.029	0.030	0.027	0.027	0.028
測定局数	52	52	52	54	54	55	57	57	57	57

### (2) 自動車排出ガス測定局

各自動車排出ガス測定局におけるNO<sub>2</sub>の年平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。



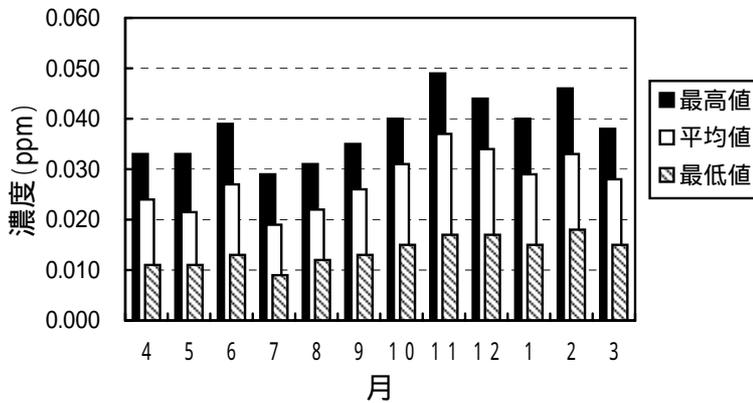
年平均値は、一般局同様、この10年間ではわずかに減少傾向がみられる。

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
最高値(ppm)	0.056	0.051	0.052	0.054	0.053	0.052	0.054	0.051	0.051	0.050
最低値(ppm)	0.029	0.029	0.028	0.028	0.029	0.028	0.028	0.026	0.027	0.027
平均値(ppm)	0.041	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.037	0.038	0.039
測定局数	26	27	29	29	29	30	30	30	30	30

### 1.3 NO<sub>2</sub>の月別濃度(月平均値)

#### (1) 一般環境大気測定局

各一般環境大気測定局におけるNO<sub>2</sub>の月平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

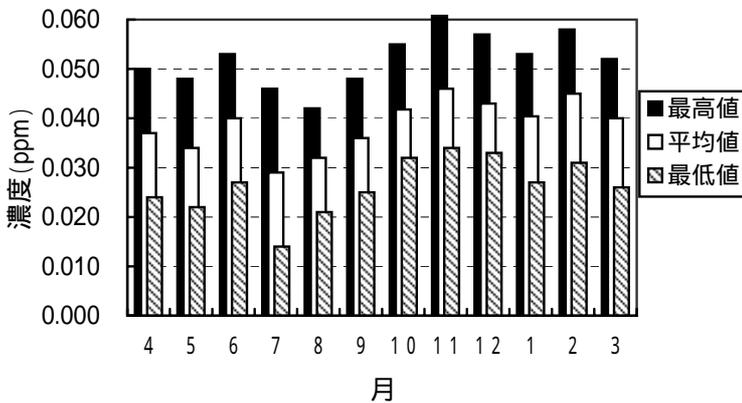


月平均値は、大気の安定する冬季に高くなる傾向があるが、NO程の季節的な差は見られない。これは、発生源から排出されたNOが大気中のO<sub>3</sub>と反応してNO<sub>2</sub>となるため、光化学反応の活発な夏期にNO<sub>x</sub>中のNO<sub>2</sub>の割合が多くなるためである。また、例年の月変動に比べ6月、8月、11月、2月がやや高くなっているが、これは例年に比べ風速が弱かったためと考えられる。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最高値(ppm)	0.033	0.033	0.039	0.029	0.031	0.035	0.040	0.049	0.044	0.040	0.046	0.038
最低値(ppm)	0.011	0.011	0.013	0.009	0.012	0.013	0.015	0.017	0.017	0.015	0.018	0.015
平均値(ppm)	0.024	0.022	0.027	0.019	0.022	0.026	0.031	0.037	0.034	0.029	0.033	0.028

#### (2) 自動車排出ガス測定局

各自動車排出ガス測定局におけるNO<sub>2</sub>の月平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。



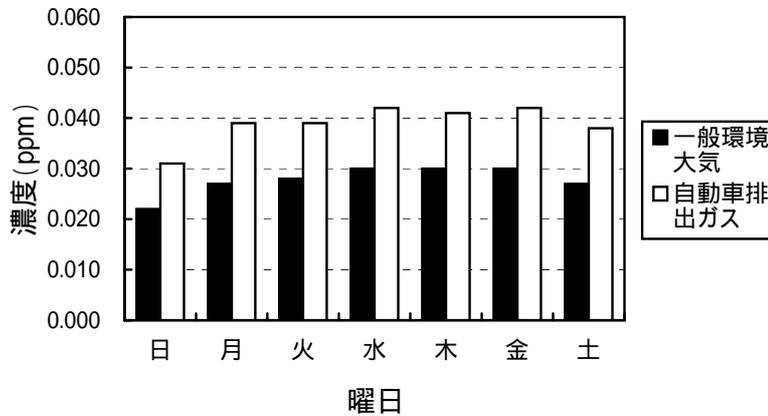
一般環境大気測定局に比較して、高濃度で推移しているが傾向は類似している。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最高値(ppm)	0.050	0.048	0.053	0.046	0.042	0.048	0.055	0.062	0.057	0.053	0.058	0.052
最低値(ppm)	0.024	0.022	0.027	0.014	0.021	0.025	0.032	0.034	0.033	0.027	0.031	0.026
平均値(ppm)	0.037	0.034	0.040	0.029	0.032	0.036	0.042	0.046	0.043	0.040	0.045	0.040

### 1.4 NO<sub>2</sub>の曜日別濃度(年平均値)

NO<sub>2</sub>濃度の年間測定結果から曜日別に求めた一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局それぞれの全局平均値を図及び表に示す。

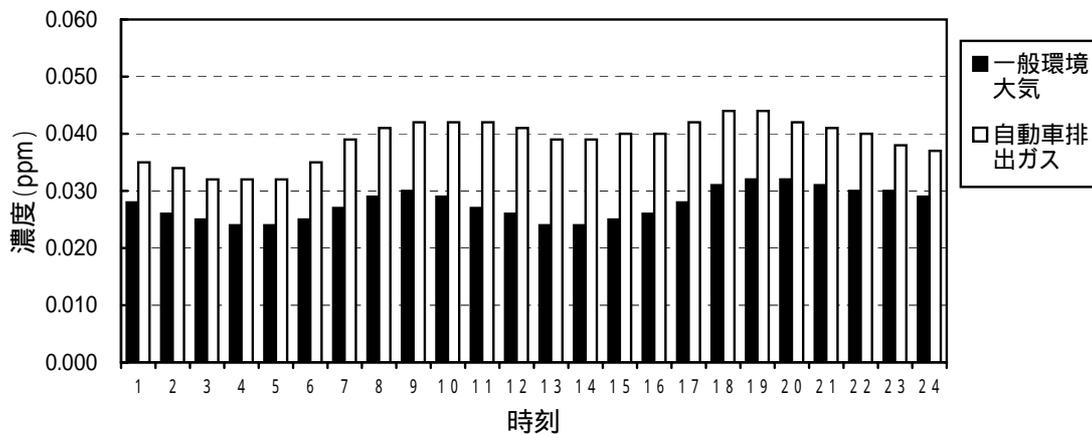
自動車走行量等の減少する日曜日に濃度が低くなっている。



曜日	日	月	火	水	木	金	土
一般環境大気 (ppm)	0.022	0.027	0.028	0.030	0.030	0.030	0.027
自動車排出ガス (ppm)	0.031	0.039	0.039	0.042	0.041	0.042	0.038

### 1.5 NO<sub>2</sub>の時刻別濃度(年平均値)

NO<sub>2</sub>濃度の年間測定結果から時刻別に求めた一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局全局の平均値を図及び表に示す。



時刻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一般環境大気 (ppm)	0.028	0.026	0.025	0.024	0.024	0.025	0.027	0.029	0.030	0.029	0.027	0.026
自動車排出ガス (ppm)	0.035	0.034	0.032	0.032	0.032	0.035	0.039	0.041	0.042	0.042	0.042	0.041

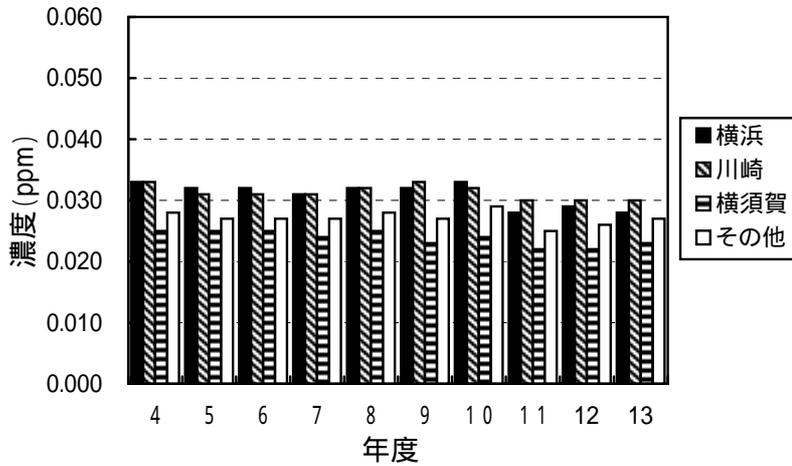
  

時刻	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
一般環境大気 (ppm)	0.024	0.024	0.025	0.026	0.028	0.031	0.032	0.032	0.031	0.030	0.030	0.029
自動車排出ガス (ppm)	0.039	0.039	0.040	0.040	0.042	0.044	0.044	0.042	0.041	0.040	0.038	0.037

大気が安定で交通量や生産活動の活発な朝方や夕方以降に濃度が高い。昼間は窒素酸化物の排出量が多いが、大気が不安定で混合層高度も高くなるため濃度は低くなっている。日中に濃度低下する割合は、一般環境大気測定局で大きく、自動車排出ガス測定局で小さく、発生源高度、大気拡散等の影響によるものと推測される。

### 1.6 NO<sub>2</sub>の地域別濃度(年平均値)

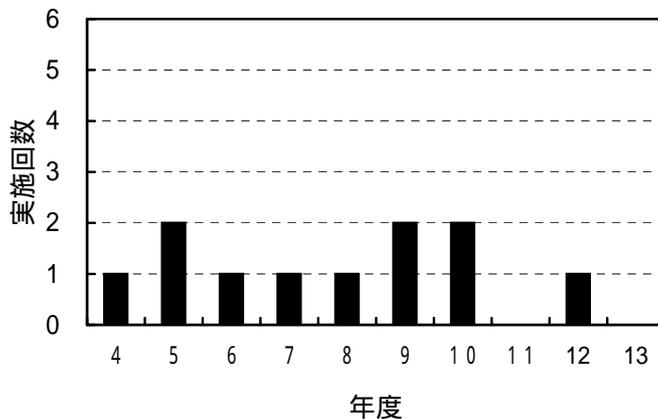
一般環境大気測定局のNO<sub>2</sub>濃度の地域別年平均値を図及び表に示す。



地域別に見た年平均値は、横浜・川崎地域が高い傾向が続いている。しかし、平成4年度と平成13年度を比較すると、その減少率は横浜で大きく、川崎、横須賀、その他の地域の順で小さくなっている。これは郊外における交通量の増加が横浜地域に比べ多くなっていることや東京湾臨海部での重油使用量の減少によるものが推測される。

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
横浜(ppm)	0.033	0.032	0.032	0.031	0.032	0.032	0.033	0.028	0.029	0.028
川崎(ppm)	0.033	0.031	0.031	0.031	0.032	0.033	0.032	0.030	0.030	0.030
横須賀(ppm)	0.025	0.025	0.025	0.024	0.025	0.023	0.024	0.022	0.022	0.023
その他(ppm)	0.028	0.027	0.027	0.027	0.028	0.027	0.029	0.025	0.026	0.027

### 1.7 窒素酸化物の排出量削減措置要請実施回数の推移



県では、11月から翌年の1月の3ヶ月間、大気が安定し窒素酸化物濃度が高くなることが予想される場合に「二酸化窒素高濃度時における窒素酸化物排出量削減処置実施要領」に基づき横浜市、川崎市及び横須賀市内の主要ばい煙排出者に対し、窒素酸化物の削減要請を行っているが、平成4年度以降0～2回で推移している。

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
実施回数	1	2	1	1	1	2	2	0	1	0

### 1.8 NO<sub>2</sub>濃度の測定局順位(日平均値の年間98%値)

各測定局における日平均値の年間98%値(環境基準の評価濃度)の順位を次に示す。

#### 一般環境大気測定局

順位	局名	98%値 (ppm)	前3年度順位		
			12	11	10
1	鶴見区潮田交流プラザ	0.063	1	10	8
1	神奈川県庁	0.063	2	6	3
3	中区加曽台	0.062	2	4	1
4	西区平沼小学校	0.061	6	3	6
4	川崎市公害監視C	0.061	9	6	8
4	横須賀市役所	0.061	18	13	18
7	大師健康ランチ	0.060	2	9	6
7	田島健康ランチ	0.060	6	10	5
9	港北区総合庁舎	0.058	6	4	8
9	幸保健所	0.058	11	6	11
9	保土ヶ谷区桜丘高校	0.058	13	15	16
12	中原保健所	0.057	15	12	16
13	生活文化会館	0.055	15	13	19
13	都筑区総合庁舎	0.055	15	19	26
15	横須賀市追浜行政C	0.054	23	19	35
16	綾瀬市役所	0.053	13	25	31
16	宮前区鷺沼プール	0.053	21	17	19
16	座間市役所	0.053	30	47	49
19	神奈川区総合庁舎	0.052	1	1	3
19	磯子区総合庁舎	0.052	9	2	1
19	大和市役所	0.052	18	25	21
19	鶴見区生麦小学校	0.052	21	22	11
19	泉区総合庁舎	0.052	23	22	31
19	青葉区総合庁舎	0.052	23	25	31
25	栄区犬山小学校	0.051	18	16	22
25	茅ヶ崎市役所	0.051	23	25	22
25	平塚市役所	0.051	23	35	26
25	厚木市役所	0.051	30	42	41
25	横須賀市久里浜行政C	0.051	35	32	35
30	南区横浜商業高校	0.050	23	19	11
30	登戸小学校	0.050	35	22	31
30	鎌倉市役所	0.050	39	39	39
33	藤沢市湘南台文化C	0.049	35	32	26
33	藤沢市役所	0.049	39	32	15
35	緑区三保小学校	0.048	30	42	39
35	横須賀市衣笠行政C	0.048	30	17	38
37	逗子市役所	0.047	23	35	47
37	海老名市役所	0.047	39	39	41
37	相模原市相模台	0.047	44	39	41
37	港南区野庭中学校	0.047	47	47	22
41	中区本牧	0.046	12	25	14
41	秦野市役所	0.046	39	42	46
43	横須賀市西行政C	0.045	30	25	52
43	三浦市三崎中学校	0.045	46	51	53
45	金沢区長浜	0.044	35	25	26
45	藤沢市御所見小学校	0.044	39	35	47
45	伊勢原市役所	0.044	47	53	49
48	相模原市橋本	0.042	47	51	41
49	旭区鶴ヶ峯小学校	0.041	47	42	30
49	相模原市役所	0.041	51	42	49
49	戸塚区汲沢小学校	0.041	53	47	22
52	麻生区弘法松公園	0.040	44	35	41
52	瀬谷区南瀬谷小学校	0.040	51	47	35
54	愛川町角田	0.037	55	56	54
55	小田原市役所	0.036	55	55	54
56	津久井町中野	0.034	54	54	56
57	南足柄市生駒	0.027	57	57	57

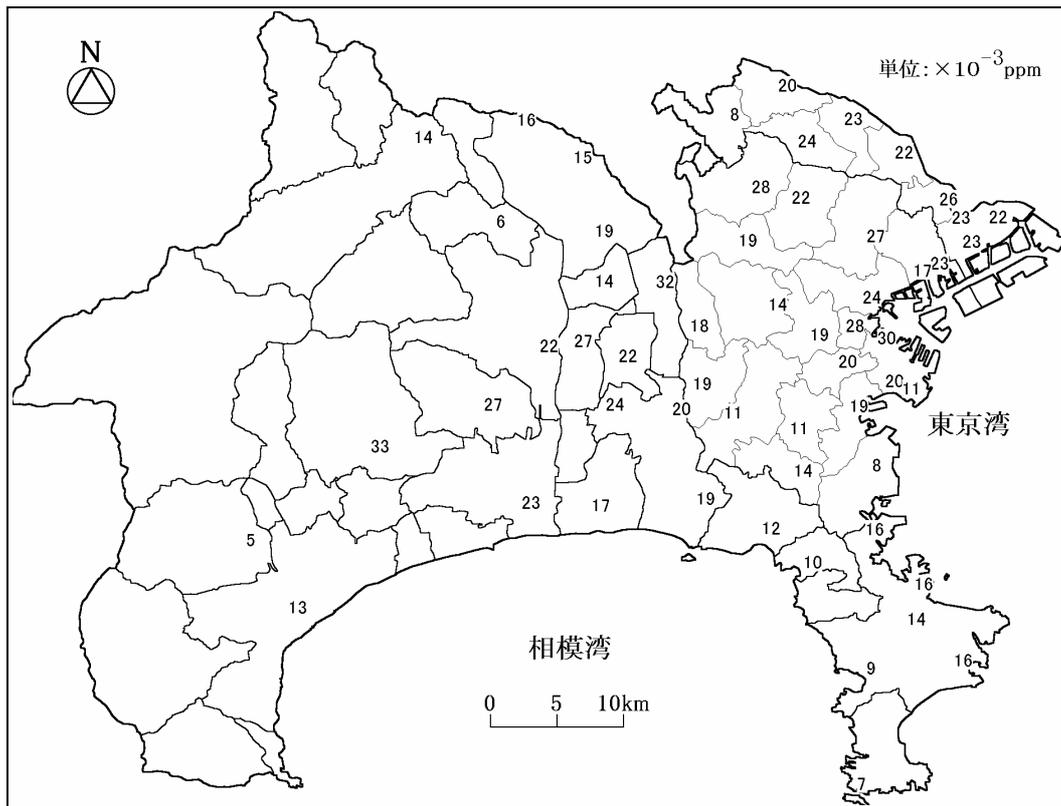
#### 自動車排出ガス測定局

順位	局名	98%値 (ppm)	前3年度順位		
			12	11	10
1	川崎区池上新田公園前	0.076	2	1	1
2	幸区遠藤町交差点	0.075	1	6	12
2	西区浅間下交差点	0.075	3	2	2
4	高津区二子	0.073	3	3	5
5	相模原市淵野辺十字路口	0.071	8	8	3
6	磯子区滝頭	0.070	3	4	5
7	川崎市庁舎前	0.068	3	10	7
8	鶴見区下末吉小学校	0.067	3	4	4
9	川崎区新川通り	0.066	8	8	7
10	青葉台	0.064	11	6	13
11	旭区都岡小学校	0.063	10	10	10
11	中原平和公園	0.063	14	13	9
11	宮前平駅前	0.063	22	20	16
14	厚木市金田	0.062	12	20	21
15	港南中学校	0.061	12	10	10
15	秦野市本町	0.061	16	20	25
17	多摩区本村橋	0.060	16	16	14
17	伊勢原市谷戸岡	0.060	16	17	17
17	横須賀市小川町	0.060	19	14	17
20	相模原市上溝	0.059	15	14	19
21	環境都筑工場前	0.057	22	18	21
22	平塚市松原	0.055	19	18	24
22	大和市深見台	0.055	21	23	21
24	麻生区柿生	0.051	25	25	26
25	藤沢橋	0.050	22	23	19
26	鎌倉市滑川	0.049	26	26	29
27	茅ヶ崎駅前交差点	0.048	26	29	27
27	新逗子駅前	0.048	26	27	27
29	戸塚区矢沢交差点	0.046	29	28	14
29	小田原市民会館	0.046	30	30	30

順位表示の白抜き文字は環境基準の評価濃度を超過していたことを示している。

印をつけた測定局は、二酸化窒素に係わる県環境目標値である“年平均値が0.02ppm以下”を達成した測定局である。

1.9 NO濃度の地域分布 (年平均値)



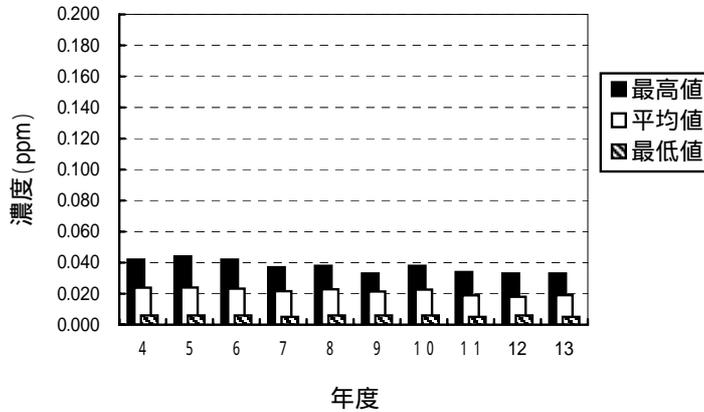
数値は、一般環境大気測定局におけるNOの測定時間が年間 6000 時間以上ある測定局 (有効測定局) の年平均値を示す。

NO濃度が比較的に高いのは、横浜、川崎などの京浜工場地帯及びその周辺や湘南、県中部である。一方三浦半島や県南西部にかけては低濃度になっている。

### 1.10 NO濃度の推移(年平均値)

#### (1) 一般環境大気測定局

各一般環境大気測定局におけるNOの年平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

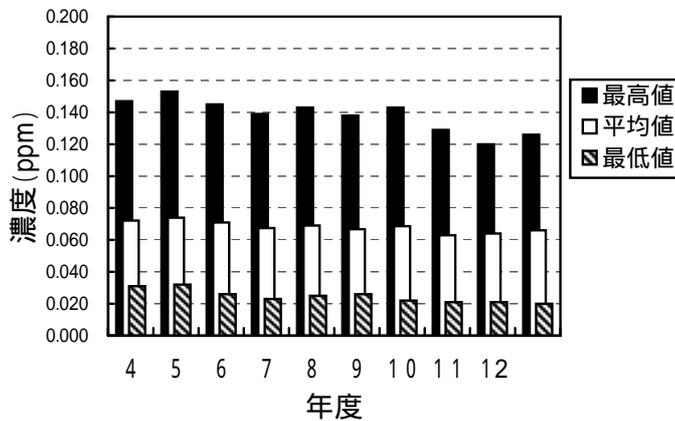


長期的には最高値と年平均値は低下傾向にあり、最低値は、低濃度で横ばいの状況にある。

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
最高値(ppm)	0.042	0.044	0.042	0.037	0.038	0.033	0.038	0.034	0.033	0.033
最低値(ppm)	0.006	0.006	0.006	0.005	0.006	0.006	0.006	0.005	0.006	0.005
平均値(ppm)	0.024	0.024	0.023	0.022	0.023	0.021	0.023	0.019	0.018	0.019
測定局数	52	52	52	54	54	55	57	57	57	57

#### (2) 自動車排出ガス測定局

各自動車排出ガス測定局におけるNOの年平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。



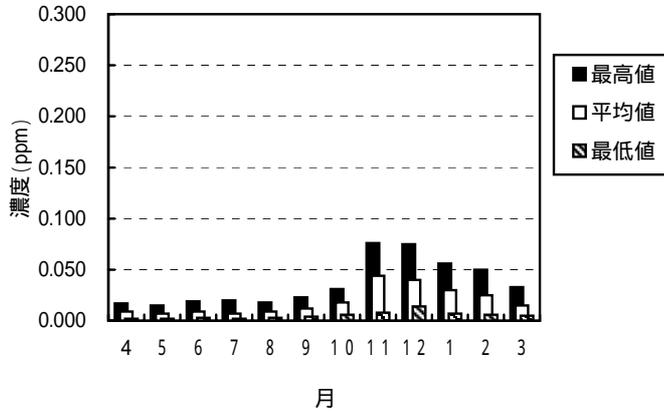
長期的な濃度の推移は一般環境測定局と類似しているが、最高値、最低値、平均値ともに低下傾向にある。

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
最高値(ppm)	0.147	0.153	0.145	0.139	0.143	0.138	0.143	0.129	0.120	0.126
最低値(ppm)	0.031	0.032	0.026	0.023	0.025	0.026	0.022	0.021	0.021	0.020
平均値(ppm)	0.072	0.074	0.071	0.067	0.069	0.067	0.069	0.063	0.064	0.066
測定局数	26	27	29	29	29	30	30	30	30	30

### 1.11 NOの月別濃度(月平均値)

#### (1) 一般環境大気測定局

各一般環境大気測定局におけるNOの月平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

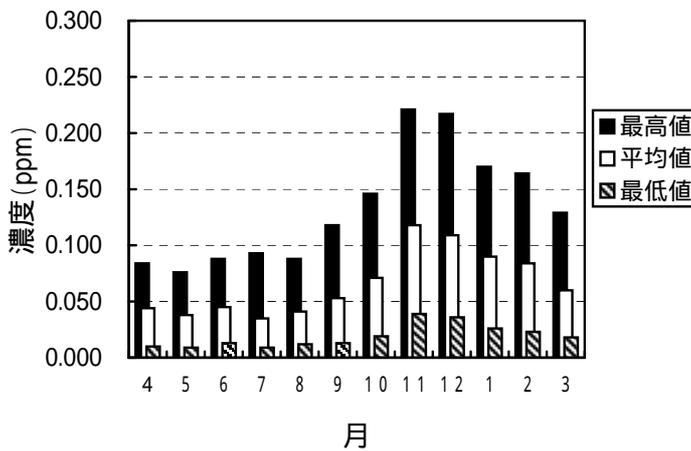


大気の安定する冬季に高濃度となる傾向がある。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最高値(ppm)	0.017	0.015	0.019	0.020	0.018	0.023	0.031	0.076	0.075	0.056	0.050	0.033
最低値(ppm)	0.002	0.002	0.003	0.002	0.003	0.004	0.006	0.008	0.014	0.007	0.006	0.005
平均値(ppm)	0.009	0.007	0.009	0.007	0.009	0.012	0.018	0.044	0.040	0.030	0.025	0.015

#### (2) 自動車排出ガス測定局

各自動車排出ガス測定局におけるNOの月平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

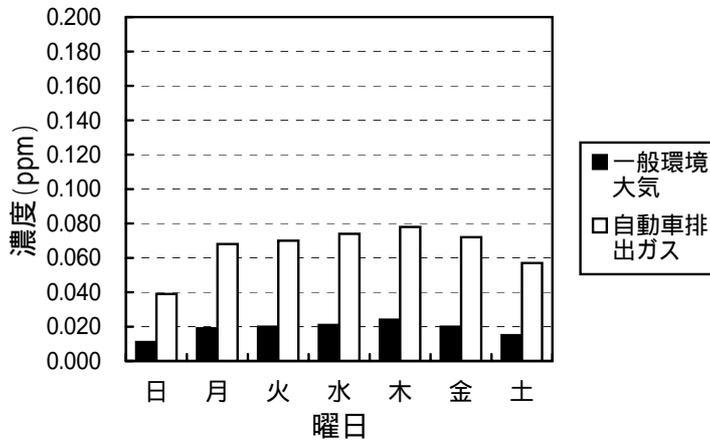


一般環境大気測定局と同様、大気の安定する冬季に高濃度になる傾向がある。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最高値(ppm)	0.084	0.076	0.088	0.093	0.088	0.118	0.146	0.221	0.217	0.170	0.164	0.129
最低値(ppm)	0.010	0.009	0.013	0.009	0.012	0.013	0.019	0.039	0.036	0.026	0.023	0.018
平均値(ppm)	0.044	0.038	0.045	0.035	0.041	0.053	0.071	0.118	0.109	0.090	0.084	0.060

### 1.12 NOの曜日別濃度(年平均値)

NO濃度の年間測定結果から曜日別に求めた一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局のそれぞれについて全局の平均値を図及び表に示す。

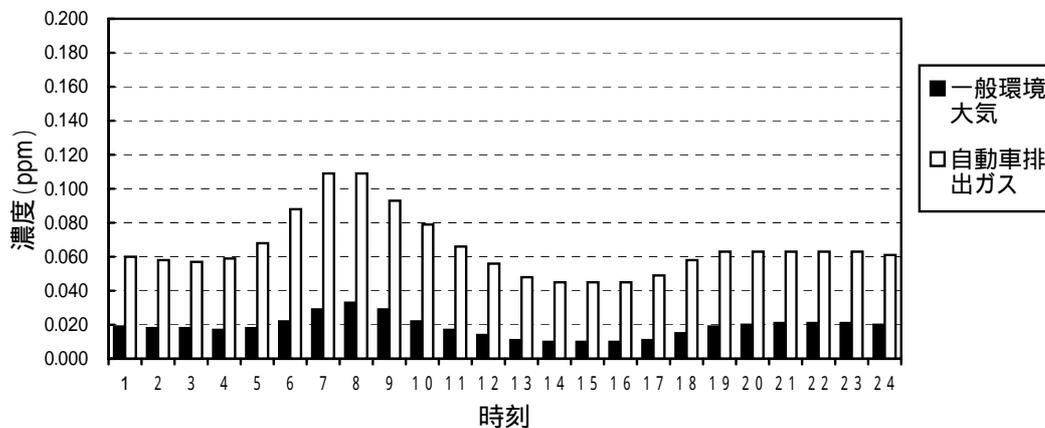


一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局ともに、土曜日、日曜日が他の曜日に比べて濃度が低くなっている。

曜日	日	月	火	水	木	金	土
一般環境大気 (ppm)	0.011	0.019	0.020	0.021	0.024	0.020	0.015
自動車排出ガス (ppm)	0.039	0.068	0.070	0.074	0.078	0.072	0.057

### 1.13 NOの時刻別濃度(年平均値)

NO濃度の年間測定結果から時刻別に求めた一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局のそれぞれについて全局の平均値を図及び表に示す。



時刻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一般環境大気 (ppm)	0.019	0.018	0.018	0.017	0.018	0.022	0.029	0.033	0.029	0.022	0.017	0.014
自動車排出ガス (ppm)	0.060	0.058	0.057	0.059	0.068	0.088	0.109	0.109	0.093	0.079	0.066	0.056

時刻	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
一般環境大気 (ppm)	0.011	0.010	0.010	0.010	0.011	0.015	0.019	0.020	0.021	0.021	0.021	0.020
自動車排出ガス (ppm)	0.048	0.045	0.045	0.045	0.049	0.058	0.063	0.063	0.063	0.063	0.063	0.061

章1.5 NO<sub>2</sub>同様、朝方と夕方以降に高くなっているが、NO<sub>2</sub>に比べ朝方のピークが夕方に比べかなり高くなっている。またNO<sub>2</sub>は9~11時に高くなっているが、NOは7時、8時に高濃度となっている。これは自動車からの排出がNOであり、大気中でNO<sub>2</sub>に酸化されるためである。

1.14 NO濃度の測定局順位(年平均値)

一般環境大気測定局

順位	局名	年平均値 (ppm)	前3年度順位		
			12	11	10
1	秦野市役所	0.033	1	1	1
2	大和市役所	0.032	4	2	7
3	神奈川県庁	0.030	2	2	2
4	西区平沼小学校	0.028	5	5	4
4	青葉区総合庁舎	0.028	5	5	4
6	港北区総合庁舎	0.027	7	8	9
6	海老名市役所	0.027	7	11	15
6	伊勢原市役所	0.027	13	11	13
9	幸保健所	0.026	10	11	9
10	神奈川区総合庁舎	0.024	3	2	3
10	藤沢市御所見小学校	0.024	7	5	9
10	宮前区鷺沼プール	0.024	11	8	9
13	平塚市役所	0.023	13	19	19
13	川崎市公害監視C	0.023	16	22	19
13	田島健康ランチ	0.023	16	14	15
13	生活文化会館	0.023	16	14	15
13	鶴見区潮田交流プラザ	0.023	16	19	19
18	中原保健所	0.022	16	14	19
18	綾瀬市役所	0.022	16	14	19
18	大師健康ランチ	0.022	22	22	19
18	都筑区総合庁舎	0.022	22	19	27
18	厚木市役所	0.022	22	22	33
23	南区横浜商業高校	0.020	13	14	7
23	中区加曽台	0.020	26	32	33
23	藤沢市湘南台文化C	0.020	26	29	33
23	登戸小学校	0.020	29	22	29
27	磯子区総合庁舎	0.019	11	8	4
27	保土ヶ谷区桜丘高校	0.019	25	22	29
27	相模原市相模台	0.019	26	27	36
27	緑区三保小学校	0.019	29	29	36
27	泉区総合庁舎	0.019	32	29	29
27	藤沢市役所	0.019	34	35	25
33	瀬谷区南瀬谷小学校	0.018	36	35	13
34	茅ヶ崎市役所	0.017	32	32	25
34	鶴見区生麦小学校	0.017	34	37	15
36	相模原市橋本	0.016	29	32	29
37	横須賀市役所	0.016	36	40	40
37	横須賀市追浜行政C	0.016	36	40	42
37	横須賀市久里浜行政C	0.016	44	42	42
40	相模原市役所	0.015	36	37	48
41	旭区鶴ヶ峯小学校	0.014	36	37	27
41	津久井町中野	0.014	36	42	45
41	栄区犬山小学校	0.014	42	42	45
41	座間市役所	0.014	44	45	48
41	横須賀市衣笠行政C	0.014	48	27	40
46	小田原市役所	0.013	44	46	45
47	鎌倉市役所	0.012	44	46	52
48	中区本牧	0.011	48	51	38
48	戸塚区汲沢小学校	0.011	48	51	38
48	港南区野庭中学校	0.011	53	53	42
51	逗子市役所	0.010	48	46	48
52	横須賀市西行政C	0.009	53	55	54
53	麻生区弘法松公園	0.008	42	46	52
53	金沢区長浜	0.008	48	46	48
55	三浦市三崎中学校	0.007	55	53	54
56	愛川町角田	0.006	56	56	56
57	南足柄市生駒	0.005	57	57	57

自動車排出ガス測定局

順位	局名	年平均値 (ppm)	前3年度順位		
			12	11	10
1	西区浅間下交差点	0.126	1	1	1
2	厚木市金田	0.115	3	3	3
3	幸区遠藤町交差点	0.113	4	15	17
4	川崎区池上新田公園	0.107	2	2	2
5	伊勢原市谷戸岡	0.105	5	4	4
6	高津区二子	0.105	6	5	5
7	相模原市淵野辺	0.099	8	7	5
8	秦野市本町	0.090	9	8	5
9	磯子区滝頭	0.088	7	6	5
10	宮前平駅前	0.083	24	24	26
11	旭区都岡小学校	0.075	10	9	5
12	青葉台	0.071	11	10	5
13	相模原市上溝	0.066	12	11	5
14	川崎区新川通り	0.063	13	12	12
15	鶴見区下末吉小学校	0.058	14	16	12
16	多摩区本村橋	0.056	14	12	14
17	平塚市松原	0.054	19	17	17
18	大和市深見台	0.053	17	17	16
19	横須賀市小川町	0.052	17	19	19
20	川崎市庁舎前	0.050	20	21	22
21	麻生区柿生	0.049	16	14	15
22	環境都筑工場前	0.042	21	22	24
23	港南中学校	0.040	22	20	23
24	中原平和公園	0.038	23	23	24
25	藤沢橋	0.034	26	25	19
26	小田原市民会館	0.033	24	27	27
26	戸塚区矢沢交差点	0.033	27	26	19
28	新逗子駅前	0.026	28	28	28
29	茅ヶ崎駅前交差点	0.021	30	29	29
30	鎌倉市滑川	0.020	29	30	30